



森田市長から表彰される方々

長生きのひけつは軽い運動と食事!

市老人福祉大会開かれる

市と市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会が共催する「昭和六十二年度市老

人福祉大会」が九月十日、市民体育館で開かれました。この大会は、社会に貢献

してきたお年寄り達を慰労するとともに、その長寿と健康を祝うもので七十五歳

以上のお年寄り約千百人が出席。

大会では、森田市長が「心身ともに健康で長生きをし、しかも社会に奉仕しつつ豊かで幸せな老後が確保されるよう、さらに福祉の輪をひろげていこうではありませんか」と式辞を述べました。

続いて、九十五歳以上の長寿者九人と米寿を迎えた三十三人、寝たきり老人介護者五人など合わせて五十九人を表彰。

また、この日は県老人福祉大会での顕彰状などの伝達も行いました。

その後、来賓として成田浅川両県議と川浪市議会議長がそれぞれ祝辞を述べました。

また、午後は市老連芸能部の民謡、手踊りなどを楽しみました。

(表彰された方々のお名前は五ページに掲載)

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

昭和62年

No.648

10-1

出稼ぎ 明るい出稼ぎを!!

もうすぐ出稼ぎシーズン。

稲刈りなど秋の取り入れが終わると冬
の支度もそこそこに出稼ぎに行きます。

今年も五所川原市から関東・関西などに約二

千五百人が出稼ぎするものと予想されています。

病気や怪我をしないように、働きに出る人も、

留守を預かる人も願いは同じです。

今号では、出稼ぎをする皆さんへ出発前や

就労先・帰郷するときの注意事項など

をまとめてみました。

おとうさんはやくかえって
きて、

『わたしのおとうさんは、

いねかりがおわってから、

とうきょうにはたらきにい

きました。

はたらいておかねをもら

ってくるのです。

おとうさんは、まいにち

ちからいっぱいはいたらいて

いるとおもいます。

おとうさんは、おうちに

いるときトランプをしてあ

そんでくれます。いまはい

ないのでとてもさびしいで

す。

いくとき、おみやげかっ

てくるとやくそくしました。

はやくかえってくればい

いとおもいます。——

これは、昨年発行された出

稼文集「津軽っ子」第十六

号に載っている小学校一年

生女子の作文です。

出稼ぎをする皆さん、次

のことを是非守って、事故

のない明るい出稼ぎをして

ください。

出稼ぎに 行く前に

▼なぜ出稼ぎするのか

家族とよく話し合うこと

もに、子供の教育、突発的

な困りごとが生じたときの

連絡方法、留守中の生活設

計の手順などをよく話し合

いましょう。

又、就労する会社名、宿

舎の住所、電話番号なども

家族には話しておかけまし

ょう。

▼公共職業安定所の紹介で

縁故就労や知人の紹介、

口コミによる直接募集は雇

用改善が十分でない中小企

業が多く、病気やケガなど

の労働災害の手続き、労働

条件の違い、賃金の遅延、

不払いなどトラブルが多く

発生しています。

職業安定所を通していま

すと、万一賃金不払い事故

が発生しても求人受理職業

安定所が責任ある措置をと

ってくれるため、短期間に

解決できます。

▼出稼ぎはグループで

出稼ぎは、そのほとんど

が県外での就労であり、一

人ひとり而就労するよりも

気心のあつた人、近所の人

がそろって良いリーダーと

ともに同じところに就労す

ることが、留守家族にとっ

ても安心です。

▼出稼労働者手帳の交付を

受けましょう

この手帳は、身分証明に

なるほか次のようなときに

必要です。

○雇入通知書(会社で労働

条件の確認を受けるとき)

○賃金未払確認書(賃金未

払いの内容確認のとき)

○健康証明書(就労前に健

康診断を受けたとき)

○雇用保険の加入のとき

この手帳は市役所市民課

及び各支所の窓口で交付し

ています。

▼「事故見舞金制度」に必ず

加入しましょう。

万一、事故や火災に遭っ

たときは見舞金の給付が受

出稼ぎされる皆さんへ

(五所川原公共職業安定所 齊藤栄統括職業指導官)

一昨年秋ごろからの円
高による厳しかった経済
情勢にも回復のきざしが
みえてきています。

しかし、出稼求人につ
いては、製造業からの求
人が少なく、依然として
厳しいものがあります。

今後出稼ぎをされる方
々は、次のことに留意し
て安全で明るい出稼ぎを
してください。



- 求人条件をきちんと確
認して安定所の紹介で就
労すること。
- 賃金のみにとられる
ことなく、自分の能力、
経験、体力に適した職種、
事業所を選ぶこと。
- 製造業では、年齢制限
や採用条件が厳しい傾向
にあるので他産業への就
労も十分検討すること。
- 事故や問題が発生した
場合には、独断で帰郷せ
ず就労地の公共職業安定
所・労働基準監督署又は、
県外事務所などに相談す
ること。

たときは見舞金の給付が受
けられます。

就労中の不安をなくする

ためにも、早目に市民相談

室及び各支所で、会費六百

円を持参し手続きしてくだ

さい。

▼出稼ぎする前に健康診断

を受けましょう

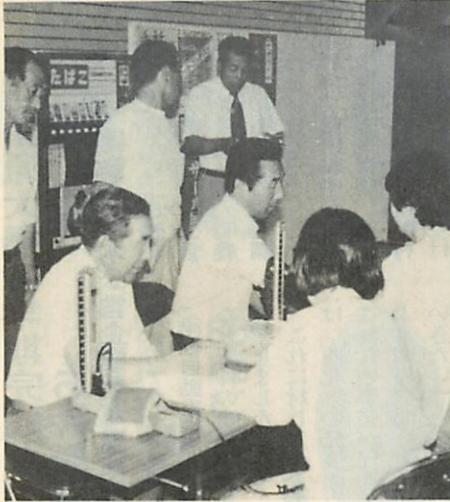
就労中、自覚症状もなく

倒れる人が増えています。

健康診断を受け、自分の
体の状態を知ってから出か
けるようにしましょう。

また、事業所で行う定期
的な検診は進んで受診しま
しょう。

※仕事の内容、賃金、就労
期間、社会保険加入の有無、
食費や療のことなど後々ト
ラブルのないように、よく
聞いてから出発しましょう。



出稼ぎ前の健康診断

もうすぐ 事故のない

就労先に 着いたら

▼就労条件を確認しまし
う
トラブルがおこらないよ
う必ず、出稼労働者手帳の
「雇入通知書」に記入して
もらい契約してください。
また、雇用保険に加入し
特別一時金が受給されるよ
う手続きがされているかど
うか確認してください。
▼賃金不払いになったら
事業所が賃金の支給日に
なっても、賃金を支払わな
いときは事業主に遅延の理
由、今後の賃金支払時期を
確認し、解決しそえない

場合は、就労先の労働基準
監督署、安定所、県外事務
所のいずれかに連絡して
ください。

帰郷する前に

▼賃金の支払いや仕事の都
合上、いつごろ帰るか現
場の責任者に知らせてお
きましょう。
▼帰郷する日が決まったら
必ず家族に連絡をしまし
よう。

▼帰るときは必ず賃金を精
算してもらいましょう。
賃金支払日の関係で未精
算となるときや賃金の未払
いがあるときは、出稼労働
者手帳の「賃金未払確認書」
に記入させ、事業主の確認
を受けてください。事業主
が記入を拒んだときは、近
くの労働基準監督署にその
ことを届けてください。
▼雇用保険の離職票の内容
が間違っていないか必ず
確認しましょう。
※このほか、出稼労働者手
帳に記載されている「出稼
ぎの心得」をよく読んで、
事故のない明るい出稼ぎを
心がけましょう。

出発前に かけて安心 事故見舞金制度

出稼者及び留守家族の幸せのために、県と市
町村がつくった出稼協会で行う互助制度です。

出稼ぎしている人やこれから出稼ぎしようと
する人はどなたでも加入できます。

加入した人は、出稼中いつ、どこで災害にあ
っても見舞金を受けられます。

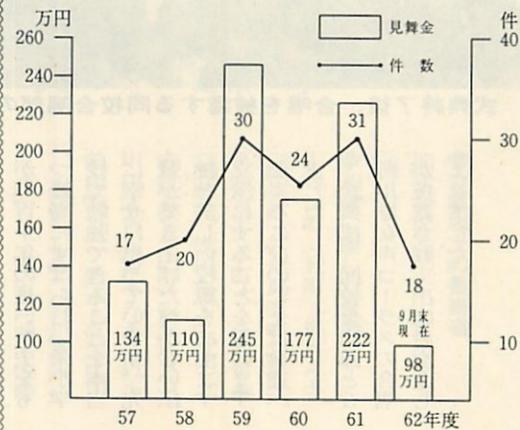
▶加入申し込み 市民相談室及び市役所各支所
の窓口で受付けています。

▶掛金 1人年間 600円です。ほかに、県と市
が1人年間 800円ずつ負担します。

▶見舞金早目表

種類	事故・火災の程度	給付額
死亡見舞金	出稼中(出発から帰宅まで)における死亡、ただし、一時帰省中の死亡を除く。	500,000円
傷病見舞金	出稼中における負傷又は疾病で休業療養を要するもの	6月以上であるもの 80,000円
		3月以上6月未満であるもの 60,000円
		1月以上3月未満であるもの 50,000円
障害見舞金	出稼中における負傷又は疾病による障害で通常の就労を不能とする程度のもの	200,000円
火災見舞金	加入者の留守宅の火災による焼失(半焼以上)	80,000円
	加入者の出稼就労先宿舍の火災で加入者に著しい損害を生じさせたもの	30,000円

▶見舞金給付状況



▶見舞金加入状況

年度	57	58	59	60	61	62 9月末現在
加入者数	750人	945人	1,126人	962人	817人	208人

※なお、詳しくは市民相談室(☎35)2111番
内線282番)へお問い合わせください。

五所川原大橋の早期完成など 5件を陳情

県議会土木公営企業委が現地調査

九月十六日から二日間にわたって、県議会土木公営企業常任委員会(金入明義委員長)の西北五の現地調査が行われました。

初日は、鶴田町や金木町などの現地を視察後、市内のホテルで西北五の市町村長からそれぞれ陳情を受けました。

この中で森田市長は、本市のみならず西北地域にとっても重要な「五所川原大橋の早期完成」「五所川原大

橋へのアクセス道路の整備」「津軽自動車道の早期着工」など五件の事業促進を強く要望しました。

これに対し、金入委員長は「西北五の発展のためにこれらの事業が促進されるよう関係機関に働きかけていきたい」と応えていました。

同委員会では翌十七日、旧十川改修現場などを視察しました。



土木公営企業常任委員会に陳情する森田市長(中央)

創立110周年を祝う

栄小で記念式典

明治十一年に創立され、今年で百十周年を迎えた栄小学校(対馬久世喜校長、児童数八百七十七人)で九月十七日、記念式典が挙行され、百十周年を祝い合うこと

ともに新たな飛躍を誓い合いました。

式典には、対馬校長はじめ教職員、全校児童、来賓、父母合わせて約九百五十人が出席。

対馬校長が同校の百十年という長い歴史にふれながら「歴史と伝統のあるこの学校の名を一層高めるように努力してほしい。職員と児童が力を合わせ、これからも新しい栄小の創造を目指して頑張ってください」とあいさつを述べました。

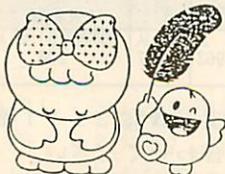
又、児童を代表して藤田直子さん(児童会長六年)が「百十年の長い歴史をもつ最高にすばらしい栄小学校で勉強できることを本当に幸せに思っています。先輩が築き上げた輝かしい伝統と美しい校風をますます立派にすることを誓います」とよろこびのこぼを述べました。

式典後、同校合唱部と五所川原女声コーラスの合唱が披露され、出席者を楽しませました。



式典終了後、合唱を披露する同校合唱部の子供達

愛ちゃんと希望くん



わかちあう幸せ

10月1日から 赤い羽根共同募金

市老人福祉大会

95歳以上長寿者など59人を表彰

95歳以上

長寿者

加藤かよ(一〇一歳 稲実)



安田ツナ(一〇〇歳 田川)



平山あ江(九七歳 本町)



小野よし(九七歳 金山)



三浦竹次郎(九七歳 前田野目)



宮崎うめ(九五歳 新宮町)



山本すへ(九五歳 柳町)



川村仁助(九五歳 金山)



三浦マサ(九五歳 金山)



(敬称略)

88歳に達した

長寿者

渋谷ゆみ(鎌谷町)、木村武

次郎(柳町)、成田善作(岩

木町)、佐々木ソノ(本町)、

小野ミツ、佐藤タミ(以上

(敬称略)



寝たきり老人

介護者

沼宮内正(松島町六丁目)、大谷セ子(中泉)、和島勘太郎(漆川)、小田桐リツ(湊)、上見義光(長富)

老人クラブ

役員

堀内長左エ門(新町長笑会)、毛内金次郎(川端町永楽会)、山川きみ江(下平井町第二高砂会)、前田直四郎(毘沙門寿康会)、新谷ぎん(前田野目長寿会)、福士忠次(高野第一長寿会)、福士太郎(高野第二長寿会)、木村千代太郎(姥范亀亀寿会)、平山千代吉(湊若竹会)、石崎石松(梅田老睦会)、須藤新一(杉派立長生会)、須藤喜代次(福山第一長生会)

(敬称略)

県老人福祉大会表彰

(伝達)

◆100歳以上の長寿者

加藤かよ(稲実)、安田ツナ(田川)

◆90歳に達した長寿者

工藤はる(元町)、奥谷みさ(鎌谷町)、飛鳥直吉(新町)、葛西きよ(本町)、江渡哲哉(旭町)、成田ふて(小曲)、吉村みち(田町)、一戸さと、川口才吉、坂本みゑ(以上前田野目)、鈴木さわ(広田)、永澤をしみ、岩川きみ、三浦かし、澤田なつ、佐藤ちせ(以上金山)、塚本喜一

郎(漆川)、山内はる(二野坪)、鰐田春弥(田川)、笠井重吉(桜田)、松本平太郎(新宮)、岩谷萬作(若葉二丁目)、其田シワ(長富)、土岐新逸(神山)、石崎石松(梅田)、福士ちせ(高野)、小笠原謙吉(前田野目)

◆老人福祉関係

太田善七(長富上慶寿会)、藤森兼世(長富下慶寿会)、平山清一(田川米寿会)、山田善孝(稲実高砂会)

(敬称略)

長生きのひけつは?

今回、95歳以上で表彰された方9人の「長生きのひけつ」は……………。

最も多いのが「体を動かす」で4人、次いで「少食で三食をきちんと」が3人、そして「早寝、早起き」「くよくよしない」がそれぞれ1人ずつでした。



「救急の日」

交通事故想定し救助訓練

五所川原地区消防本部（開米與左衛消防長）と五所川原消防署（三上定雄署長）では、「救急の日」の九月九日、市内大字飯詰字不動沢地内で、救急隊、救助隊、ハシゴ車を使って同署では初めての現場での大規模救助訓練を実施しました。

これは、多様化する各種事故者に対し、消防署員が救急救助業務をより効果的



機敏な動作でけが人を救出する隊員

に行うための訓練で、同日午前十時十八分、飯詰あすなろラインの飯詰ダム管理事務所から一九番通報があり、「乗用車がガードレールを突き破り、十五メートル下の沢へ転落、負傷した男4人が車内に閉じ込められている」という想定で行われました。

午前十時半、ハシゴ車、救急車二台、消防車の四台と救急隊、救助隊二十五人が事故現場に到着し、ロープをつたって沢に降り、カッターを使ってドアを切断。まず重傷のけが人を全身ギブスで固定して救助し、続いて助手席のけが人を助け出し、船型担架に収容してハシゴ車でつり上げて救急車へ。

最後は後部座席の軽傷者二人を救助隊員が抱え、ロープをつたって無事故急車に収容し、約二十分にわたる訓練を終わりました。

訓練のあと、三上署長は「多様化する交通事故に対処するためには、迅速な救助活動が必要であり、これからこのような訓練を続けていく」と語っていました。

安全な交通社会の実現を目指して

西北五交通安全母の会

交通安全母の会西北五ブロック研修会が九月九日、市中央公民館を会場に関係者約百八十人が参加して開かれました。

これは、県交通安全母の会（間宮安子会長）が主催し今回で八回目。

研修会に先き立ち開会式で間宮会長は「家庭や地域の幸せをいつも守り続けるのは母親であり、そのためにはまず自分の家庭から事故防止を図りましょう」とあいさつを述べました。

続いて、来賓の森田市長が「交通安全の盛り上がり

は家庭の中から、特に母親の愛情、熱意が社会にひろがり交通事故が無くなり、皆さんの悲願が実現するよう心からお祈りします」と、また、三橋久県交通安全対策室長、鳴海公五所川原警察署交通課長、小山内有義五所川原交通安全協会会長がそれぞれ祝辞を述べました。

その後、研修会に入り、参加者は六つのグループに分かれ討議を行い、午後には各地区会長から後継者育成の悩みや特色ある活動で効果を上げている実例などが発表され、より安全で快適な交通社会の実現を図り、明るく豊かな地域を築くことをお互いに確認して閉会しました。



最後は後部座席の軽傷者二人を救助隊員が抱え、ロープをつたって無事故急車に収容し、約二十分にわたる訓練を終わりました。

訓練のあと、三上署長は「多様化する交通事故に対処するためには、迅速な救助活動が必要であり、これからこのような訓練を続けていく」と語っていました。



熱心な討議が行われた研修会

続いて、来賓の森田市長が「交通安全の盛り上がりは家庭の中から、特に母親の愛情、熱意が社会にひろがり交通事故が無くなり、皆さんの悲願が実現するよう心からお祈りします」と、また、三橋久県交通安全対策室長、鳴海公五所川原警察署交通課長、小山内有義五所川原交通安全協会会長がそれぞれ祝辞を述べました。

その後、研修会に入り、参加者は六つのグループに分かれ討議を行い、午後には各地区会長から後継者育成の悩みや特色ある活動で効果を上げている実例などが発表され、より安全で快適な交通社会の実現を図り、明るく豊かな地域を築くことをお互いに確認して閉会しました。

暴力110番

- 暴力団から被害を受けた。
- 暴力団の犯罪を見た。
- 暴力団のことで困っている。

方は

五所川原警察署 ③5 2141番
暴力110番 0177 ⑦3 1110番



防火ゲートボール大会開かれる

九月十二日、市庁舎裏のゲートボール場で「防火ゲートボール大会」が、三十九チーム、約二百五十人が参加して開かれました。同大会は、高齢者の防火

思想の高揚と相互の親睦を図ることを目的に、五所川原地域防災協会(飛鳴孝英会長)と五所川原地区消防事務組合が主催しているもので、今回で二回目になります。

お互いの親睦を深めてください」とあいさつ。引き続き、柏原町チームの大鷹作次郎さんが「正々堂々と闘うことを誓います」と元気づけ宣誓。

開会式終了後参加者は、実際に消火器等を使い、初期消火の実験を行った後、試合が開始され熱戦が展開されました。

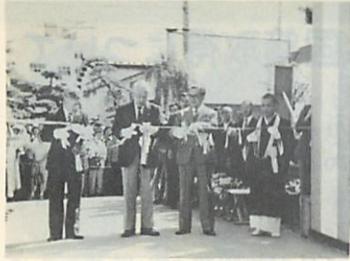
上位入賞チームは次のとおりです。
第一位 幾島町Aチーム
第二位 柏原町チーム
第三位 梅田Aチーム
水野尾Aチーム



訓練消火が行われた競技の前

市社協に30万円寄付

松緑神道大和山



バザー初日に行われたテープカット

松緑神道大和山(田沢康三郎教主)では九月六日、社会福祉に役立ててくださると市社会福祉協議会に三十万円を寄付しました。

これは、九月五日から二日間にあつて同教団が市役所お祭り広場で開いたチャリティバザーの益金の一部を寄付したものです。同バザー実行委員長が原田市太郎市社会福祉協議会事務局長に目録を手渡ししました。

市社協ではこのたびの寄付金を共同募金に繰り入れて役立てることにしています。

中央小Aが二年連続の総合優勝

ママさん 体育大会



つな引き競技でがんばるママさん達

「第十八回学区対抗ママさん体育大会」が九月六日、市民体育館で開かれ、各学区から選手など約六百人が参加しました。

同大会は、日頃運動不足になりがちな婦人達の健康と体力の増進を図り、市民のスポーツへの関心をより一層盛り上げると共に、参加者の親睦を深めようと市教育委員会が主催しているものです。

- 競技は卓球、キックボールなど四種目で行われ、選手達は、それぞれの学区の期待を担って健闘しました。上位入賞チームは次のとおりです。
- 総合 ①中央小A(二年連続) ②中央小A(四年連続) ③五小A
- 卓球(個人) ①岡田(飯詰小) ②菅原(佐々木組(中央小))
- オープン競技
グラントゴルフ(個人) ①太田(松島小) ①工藤(松島小)
- ホールインワン賞
太田昭子、猪口初子(松島小)

10月は
市県民税 第3期
健康保険税 第4期
の納期です
(市収納課)

交通災害共済
年額
350円
— 家族そろって 加入しましょう —

市消費生活モニター調査結果

市では、5人の消費生活モニターを委嘱し、毎月独自に品目を設定して市民生活に関連性の高い物資などの価格調査を行っています。

この5人の調査結果の平均を3ヶ月ごとに公表しています。(今回は7月1日号)。

買物などの参考にしてください。

品 目	規 格	7月	8月	9月
灯 油	18ℓ 缶入	793 ⁽¹⁾	774 ⁽¹⁾	795 ⁽¹⁾
灯 油	200ℓ 缶入	8,600	8,520	8,480
LPガス	5 M3	3,000	2,706	2,880
ガソリン	レギュラー 1ℓ	121	121	121
ガソリン	ハイオクタン 1ℓ	135	138	141
牛 肉	もも肉 100g	331	370	368
豚 肉	もも肉 100g	150	157	150
鶏 肉	もも肉 100g	95	96	99
鶏 卵	1kg	204	219	224
牛 乳	成分無調整牛乳 1ℓ	218	219	224
バター	225g 紙箱入	340	357	372
食パン	普通食パン	146	146	145
まぐろ	刺身用 100g	229	229	261
い か	するめいか 100g	302	220	207
た こ	まだこ 100g	143	149	143
たらこ	並 100g	225	249	287
キャベツ	普通品 1kg	238	186	153
ほうれんそう	100g	82	127	163
にんじん	1kg	248	154	144
わかめ	塩 100g	41	49	55
糸こんにゃく	100g	69	87	83
干うどん	250g	98	90	90
干のり	1ちょう 黒のり	468	363	367
豆 腐	丸棒形袋入	58	58	62
納 豆	丸納豆 100g	61	61	68
味 そ	2kg 1袋	520	566	546
しょう油	濃口(本醸造) 特級 1.8ℓ	514	505	531
トイレット ペーパー	バルブ 4個組	237	236	237
ティッシュ ペーパー	400枚200組	237	236	237
台所洗剤	食器, 野菜, 果物用	330	328	330

届出による国籍取得について

法務省

昭和60年1月1日から改正国籍法が施行され日本人の子で一定の条件を備えている外国人は法務大臣へ届け出ることによって日本の国籍を取得できるようになっています。

この届出によって日本の国籍を取得できる場合はいくつかありますが、そのうち、改正国籍法施行前に外国人父と日本人母との間に生まれた子の国籍取得の届出は、特に改正国籍法の施行日から3年以内(本年12月31日まで)に限って行うことができることとされています。

この届出の期限が迫っていますので、届出をしようとする人は、早目に最寄りの法務局にご相談ください。

条 件	添 付 書 類
1 昭和40年1月1日から昭和59年12月31日までに生まれたこと	(1) 出生届の記載事項証明書、出生証明書、分娩の事実を記載した母子健康手帳など
2 日本国民であったことがないこと	(2) 日本の国籍を取得しようとする人の出生時から現在までの母の戸(除)籍謄本(母が死亡しているときは、その死亡時までのもの)
3 出生の時に母が日本国民であったこと	(3) 外国の方式により父母が婚姻し、その婚姻が母の戸籍に記載されていない場合は、婚姻を証する書面
4 母が現に(又は死亡の時に)日本国民であること	

シルバーシート設置のお知らせ

JR五所川原駅

JR東日本では、9月1日から五能線の普通列車にシルバーシートを設け、お年寄りや体の不自由な方々への優先席として利用していただくことになりました。

車内出入口近くの座席の窓にシルバーシートマークのある座席が優先席ですので、皆様のご協力をお願いします。

お詫び — 保険年金課から —

去る9月15日号の「国民年金保険料納付組合の設立を」の記事中、「0.07%」とあるのは「0.7%」の誤りです。訂正してお詫びいたします

こぎん刺し技術講習会 受講生募集

技術を身につけ就業を希望する婦人が対象で、初歩刺しを行います。

▷日時

1回目 10月20日から11月4日までの10日間

2回目 11月5日から11月18日までの10日間

(いずれも日、月を除く)

午前9時30分から午後3時まで

▷場所 働く婦人の家

▷募集人員 1回目、2回目ともに15人

▷持参するもの 筆記用具(赤鉛筆を含む)、ノート、糸切りばさみ、ものさし、しつけ糸、印かん、昼食。

▷申し込み締切 定員になり次第締切りとします。

▷申し込み先及び問い合わせ先

県婦人就業援助センター五所川原駐在、佐々木まで(働く婦人の家内) ☎⑤8898番。

第2回 グランド・ゴルフ大会

気軽に楽しめるスポーツとして今、全国的に爆発的な人気を呼んでいるグランド・ゴルフの競技会を実施します。

▷日時 10月18日(日) 受付9時

▷競技開始 9時30分

▷会場 南斗グランド 市役所裏

▷参加者 一般市民
6人1チーム

▷参加料 1,000円(1チーム)

▷申し込み期限 10月9日(土)

▷申し込み先 市教育委員会社会教育課 (☎⑤2111 番内線250番)

▷競技方法

1チーム6人とし、男女混合可、ただし男子は、1チーム2人以内(女子のみチームでも可)

主催 市教育委員会・市体育指導委員協議会

行政相談のお知らせ

市民のみなさんの行政に対する苦情、意見、要望などについて、無料で迅速に、そして秘密を守り、行政相談員が親身に相談に応じます。お気軽にどうぞ。

▷期間 毎週末曜日 午前10時～午後3時

▷相談場所 市役所市民相談室(木曜日以外の日は自宅で相談に応じます)

▷相談員 稲葉忠司(寺町1-5 ☎自宅④3606番)
川村昌子(敷島町1-4 ☎自宅④2519番)

市民バトミントン教室

—市バトミントン協会—

▷期間 10月毎週火・金曜日

▷時間 午後6時30分から9時まで

▷場所 市中央公民館

▷参加料 無料(ただし保険料500円)

▷対象者 中学生以上の初心者

▷連絡先 成田博昭さん(市内本町 ☎④9408番) へどうぞ。

自衛官へのコース

中学卒業者のコース(自衛隊生徒)

陸・海・空自衛隊の技術部門における陸・海・空曹を養成する制度です。

4年間の教育課程を終えると3等陸・海・空曹に昇任し、技術部門の第一線で活躍します。

また、幹部への道もひらかれています。

●生徒課程修了までに高等学校卒業資格を取得することができるようになっています。



展示発表会 みんなの教室 中央公民館

中央公民館では、「みんなの教室」を開催していますが、その学習成果を次のとおり発表、展示いたします。

ご近所お誘い合わせのうえ、多数おいでください。

▷期日 10月14日(水)

▷場所 市中央公民館

▷発表(展示)

洋裁、ちぎり絵、書道、生花、茶道、コーヒー、料理、着付、日本舞踊、ダンス、スポーツ、籐手芸

職業自立をめざす障害者の皆さんへ

4月入校生募集

東京身体障害者職業訓練校

▷訓練科目 ビジネス文書(ワープロ)、経理事務、電子機器、機械製図、写真植字、ミシン縫製、塗装等18科目

▷訓練期間 昭和63年4月から1年間(義肢装具科のみ2年間)

▷募集開始 10月1日

▷募集締切

新規学卒 10月23日まで

一般第1次 昭和63年1月14日まで

一般第2次 昭和63年2月10日まで

※授業料は無料です。公共職業安定所の指示を受けた場合手当が支給されます。寮の設備もあります。

詳しくは、東京身体障害者職業訓練校(〒187 東京都小平市小川西町2-34-1 ☎0423④1411番)又は公共職業安定所へお問い合わせください。

10月1日から

年末資金取扱い開始

国民金融公庫

年末商品の仕入資金、買掛・手形決済資金、ボーナス資金等を必要とされる時は、お早目に申し込みを。

▷貸付限度額 2,700万円

▷貸付期間 運転資金5年以内(必要な場合は7年以内)、設備資金10年以内(特定設備資金は20年以内)

▷利率 基準利率は年5.2%

詳しいことは、国民金融公庫弘前支店相談係(☎0172③6303番)へどうぞ。

年末年始資金受付中

県信用保証協会

県信用保証協会では、県内中小企業者の年末・年始における資金需要に應えるため、県とタイアップして年末年始資金を受け付けています。資金繰りの忙しいこの時期の短期資金としてご利用ください。

▷受付期間 10月1日から昭和63年1月31日まで

※詳しくは、県信用保証協会五所川原支所(☎⑤4121番)又は金融機関各支店までお問い合わせください。

雇用保険の特例一時金を
受給されている皆さんへ

一五所川原公共職業安定所一

雇用保険では、従来失業した場合特例一時金を受給されている人についても、昭和62年10月以降は、同一事業所に連続して1年未満の雇用期間で雇用され、極めて短期間の離職期間で入離職を繰り返し、その都度特例一時金を受給している人については、原則として、以後は、特例一時金ではなく、基本手当等が支給されることとなります。

なお、詳しいことは五所川原公共職業安定所(☎④3171番)へお問い合わせください。

	特例一時金	基本手当
受給要件	原則として、離職日以前1年間に1暦月中に賃金支払基礎日数が11日以上ある月が通算して6ヵ月以上あること →暦月6ヵ月以上の勤務で可能	原則として、離職日以前1年間に賃金支払基礎日数が14日以上ある月が通算して6ヵ月以上あること →満6ヵ月以上の勤務が必要
受給期間	離職日の翌日から6ヵ月間	原則として、離職日の翌日から1年間
受給額・受給日数	原則として、基本手当日額(離職前賃金の6~8割)の50日分	被保険者であった期間及び年齢等により基本手当日額の90~300日分(被保険者であった期間が1年未満の場合は一律90日分)
受給手続	1回の失業認定で、失業日数にかかわらず一時金を受給	原則として、4週間に1回出直し、失業認定を受けた日数に応じ受給
その他		・給付日数の延長制度あり ・他に傷病手当、再就職手当等が支給されることあり

出稼者及び留守家族激励会

これから出稼ぎをされる方とその留守家族の激励会を開きます。

一般の方も多数おいでください。

▷日時 10月12日(月)正午から

▷場所 市民文化会館

▷催し物 黒石八郎ショー、カラオケ大会

主催 市出稼協会

共催 市内農協懇談会

ふるさとの歴史を語る会

北奥文化研究会

▷日時 10月18日(日)午後2時から4時まで

▷場所 市歴史民俗資料館

▷テーマ 「庚申信仰について」

▷講師 工藤鉄男氏(市文化財審議委員)

▷受講料 無料

新受入図書

市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
奥州・平泉・黄金の世紀	荒木 伸介	百の緑の中で	二部 治身
パソコン奮戦記	伊藤 鉄也	季に寄せる	週間朝日
暮らしの中の文化人類学	波平恵美子	塀の中のプレイボール	安部 譲二
知っておきたい異常気象	朝倉 正	千軍万馬	咲付 親
正気の発見	内沼 幸雄	死刑囚・生きる	小坂井 澄
弘前・藤田葡萄園	藤田本太郎	勝手にしゃべる女	赤川 次郎
新・在宅看護術	後藤 榮子	アレクサンドロスの決断	池田 大作
農家の借金	農 文 協	梅安影法師	池波正太郎
中国と日本の神話と文明	黒羽 寧	ナイン	井上ひさし
新日本史への旅	森 浩一	歳 月	南條 範夫
源平の争乱	安田 元久	それぞれの富士	西村 滋
せまくてもわが家は花園	柳 宗民	霧の会議	松本 清張
ドル暴落	日高 義樹	酒場横丁の人々	村松 友視
現代っ子相談室	望月 一宏	しあわせな話	宇野 千代
20世紀の名演奏家	三浦 淳史	マイフレンズ	黒柳 徹子
ドイツ人の歴史意識	藤沢 法暁	夜中の乾杯	丸谷 才一
明治天皇	杉森 久英	女たちのまつり	宮原 昭夫
現代史の分水嶺	石原慎太郎	悪夢のオルゴール	松井 邦雄
経理のすべてがわかる事典	上原 学	緩りかさねて	長谷川貞助

昭和63年度学生募集

青森職業訓練短期大学校

▷募集定員

系	科	専攻	定員
機械システム系	機械システム科	電子機械専攻	30名
		生産機械専攻	
電子・情報システム系	電子システム科	電子専攻	40名
	情報システム科	情報処理専攻 電気通信専攻	
設備制御システム系	制御システム科	自動制御専攻	20名
		建築空調設備専攻	
合 計			90名

▷推薦入試

- 出願期間 11月16日から12月4日まで
- 選考日 12月11日
- 選考方法 調査書、推薦書、小試験(数学)、面接
- 選考場所 本校
- 合格発表 12月18日

▷一般入試

- 出願期間 昭和63年1月25日から昭和63年2月9日まで
- 試験日 昭和63年2月17日
- 試験科目 数学 数学I・II(微積)
理科 理科I又は物理から1科目選択
外国語 英語I
- 試験場所 本校、青森、八戸、弘前、野辺地
- 合格発表 昭和63年2月25日
- ※詳しいことは、「昭和63年度学生募集要項」に記載してありますので、青森職業訓練短期大学校学生課(市内大字戸沢字畑林21☎☎2824番)へ切手240円分を同封してご請求ください。

たばこは、市内から買って!

あなたが市内でたばこをお買い求めになりますと、たばこ消費税が市の収入(たとえばマイルドセブン1箱につき41円40銭)になります。



短

歌

津軽アスナロ五所川原支部
 買いたての地図を手に妻と往きめぐる暮春か
 初夏か暑き明日香路 大 沢 寿 夫
 四十年の年月は早しラバウルに共に戦いしを
 君かくも老ゆ 崎 野 清 蔵
 山深き峽にひっそりと冬を待つ古遠部宿と二
 匹の犬は 大 沢 良 信
 大股で黄泉路ゆきしか真夏日の「陽のあたる
 坂道の」眩し裕次郎 山 谷 久 子
 乱続くマニラの新聞記事痛しインクの香蹟つ
 紙面に見入る 原 田 栄 子
 津軽野の見慣れし風景の中に一つニューマー
 クの気動車が見ゆ 三 浦 そ 子

移動消費生活センター 消費者講座

- 市では、消費者の知識高揚をはかるため「消費者講座」を開催します。
- お誘い合わせのうえ、多数おいでください。
- ▷日時 10月12日(月)午後1時から3時まで
 - ▷場所 市中央公民館
 - ▷講師 山本アユ子先生(県消費生活センター)
 - ▷テーマ 「だましの商法アレコレ」(悪質手口の手の内公開)
 - ▷受講料 無料

市役所の電話番号は③5 2 1 1 1 番

「愛の献血」お願いします

ただいま県内では非常に血液が不足しています。手術等で多量に輸血を必要としている方々へ市民の皆様方のあたたかいお心をお願いします。

期 日	時 間	場 所
10月15日 (木)	午前10時から 12時まで	市役所お祭り広場
	午後1時30分から 午後4時まで	西北中央病院
10月28日 (水)	午前10時から 12時まで	鎌谷町防災コミュニティセンター
	午後1時30分から 午後4時まで	マルトモデパート 駐車場

結核検診を受けましょう

結核は伝染病です。

“今さら 結核 されど結核、

あなたも結核菌にねらわれています。年に一回は検診を受けましょう。

新しい患者さんが、男性50代以降に増えています。

長びくせき、たん、発熱、胸痛など、こんな症状があったら、早く受診しましょう。

地区保健協力員を通じ受診票を配布します。

(検診車にも準備しています。)

詳しくは市衛生課(内線272番)へどうぞ。

※受診は都合の良い場所です。

10月19日 週	大町 レストラン藤吉郎前	9:30 ~ 9:50
	布屋町 西北中央病院前	10:00 ~ 10:40
	鎌谷町 防災コミュニティセンター前	10:50 ~ 11:40
	一ツ谷 大和山道場前	13:00 ~ 13:20
10月20日 週	平和町 平和町集会所前	13:30 ~ 13:50
	田町 白衣神社前	14:00 ~ 14:20
	新町 保健センター前	14:30 ~ 14:50
	上平井町 中央集会所前	9:30 ~ 10:00
10月21日 週	中平井町 五所川原小学校前	10:10 ~ 10:50
	幾世森 老人ホームくるみ園前	11:00 ~ 11:40
	若葉 県営集会所前	13:00 ~ 13:30
	森の家前	13:40 ~ 14:10
10月22日 週	新宮 新宮公民館前	14:20 ~ 14:50
	末広町 保健所前	15:00 ~ 15:30
	旭町 斉勝駐車場前	9:30 ~ 10:00
	大町 マルトモデパート駐車場前	10:10 ~ 10:40
10月23日 週	錦町 新岡肥料店前	10:50 ~ 11:20
	寺町 木村石油寺町給油所前	11:30 ~ 12:00
	小曲 農村婦人の家前	13:00 ~ 13:30
	工藤敷宅前	13:40 ~ 14:10
岩木町 市民文化会館前	14:20 ~ 14:50	

休日・夜間の急病は

在宅医師の照会(消防署へ)

☎35-2019番

(救急医療部会)

「40歳からの健康週間」

10月10日～16日

ミニドックを受けよう

“健康な老後は40才からの心がけ”

働き盛りの40代のみなさん、栄養、運動、休養等の日常生活の管理が大切です。

そして、年1回は定期検診で健康チェックをぜひ受けて下さい。

ミニドックをおすすめします!

市では40才以上の市民を対象に成人病の早期発見、早期治療を目的としたミニドックを実施しています。対象となる人は積極的に受けるようにしてください。

▷実施期間 8月1日から翌年2月29日まで

▷実施時間 医療機関によって実施時間が違いますので申し込み時にお知らせいたします。

▷対象者 昭和23年3月31日までに生まれた方。なお、職場等で検診を受けられる方は除きます。

▷受診方法 受診を希望する人は、市衛生課及び市役所各支所窓口で保険証を持参のうえ、受診記録票の交付を受け、希望する医療機関で受診してください。

▷受診料 1,000円(申し込み時)

ただし70歳以上の方、生活保護世帯、市民税非課税世帯の方は無料(申し込みの際証明書を提出してください)。

▷診査項目 問診、身体測定、血圧測定、心電図、尿検査、貧血検査、肝機能検査。

▷問い合わせ先 市衛生課(内線272番)。

◎実施医療機関名

江渡 医院・田辺胃腸科外科医院
小笠原 内科医院・対馬内科小児科医院
兼平内科小児科医院・富田胃腸科内科医院
川崎胃腸科内科医院・中村 内科医院
木村 内科医院・永田小児科内科医院
健生病院五所川原診療所・白生会胃腸病院
佐藤仁外科胃腸科医院・復明堂 医院
佐藤内科小児科医院・増田 病院
荘司内科医院・三好診療所
白戸胃腸科外科医院・森田診療所
西北中央病院・森内科小児科医院

みんなの健康教室

▷日 時 10月23日(金)午後1時

▷場 所 市保健センター

▷講 師 村本 幸栄先生

(西北中央病院副院長)

▷テーマ 「眠れない人のために」

主 催 北五医師会・市民保健協議会

みんなの健康教室テレフォンサービス実施中☎35 0311番